

# 福岡市消防局からのお知らせ

## 火災予防について

- 万が一、火災が発生した場合、建物の構造や密集度等によりその被害は大きなものとなります。安心して来店していただけるよう、商店街全体で協力し合い、火災の発生を未然に防ぎましょう！また、閉店時には、火の元をしっかりと確認しましょう。

### <こんろ火災に注意>

飲食店での主な火災原因は「こんろ」です。

こんろ火災の出火原因の過半数が、こんろ使用中にその場を離れてしまう、いわゆる「点火放置」によるものです。

“こんろ火災”を起こさないために

- ① こんろ使用中は、その場を絶対に離れない。
- ② こんろ周りに燃えやすいものを置かない。（着衣着火にも注意！）
- ③ 過熱防止装置付きこんろを使用する。



天ぷら鍋（油鍋）から出火した場合、水をかけて消火すると、炎が急激に拡大し爆発するため、大変危険です。 ➡ 消火器での消火が最も有効です!!

### <コンセント火災に注意>

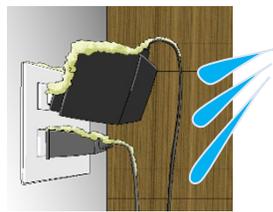
コンセントを長年使用していると、経年劣化や溜まったほこりが原因で火災になることがあります。

“コンセント火災”を起こさないために

- ① 使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く。
- ② 差し込みプラグに付着したほこりなどは取り除く。（特に家具、家電などの裏にあるコンセントに注意！）
- ③ 許容電流を超える電気製品をたこ足配線で接続しない。
- ④ 配線コードを束ねた状態で使用しない。
- ⑤ 損傷している配線コードは使用しない。

#### トラッキング火災

コンセントとプラグの間にほこりが溜まり、そこに湿気が加わるとプラグの両刃の間で放電が繰り返され、やがて熱を持って発火してしまう火災です。



## 放火対策について

- 『放火・放火の疑い』による火災は、常に出火原因の上位を占めています。

### <放火対策について>

放火火災は年間をとおして発生していますが、過去の統計によると、夕方18時から翌朝6時までの間に、約7割発生しています。

“放火火災”を防止するために

- ① 店舗の周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ② 夜間、店舗の周囲や駐車場は照明を点灯し明るくしましょう。
- ③ 空き店舗、物置にはカギをかけましょう。
- ④ 車などのボディカバーは燃えにくいものを使いましょう。
- ⑤ 商店街・地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう。

#### 放火予防ステッカー

福岡県警と連携して作成し、放火行為者に狙われやすいゴミ置き場や通路、階段などの共用部分付近に掲示して、住民に注意を促すものです。



配付を希望される場合は、管轄の消防署までお問い合わせください。

#### 【問い合わせ先】

東消防署 予防課 (TEL: 683-0119)	博多消防署 予防課 (TEL: 475-0119)
中央消防署 予防課 (TEL: 762-0119)	南消防署 予防課 (TEL: 541-0219)
城南消防署 予防課 (TEL: 863-8119)	早良消防署 予防課 (TEL: 821-0245)
西消防署 予防課 (TEL: 806-0642)	



これで安心 火の元チェックシート

チェック項目		○・×
日 常 の 心 が け	1 ゴミは、決められた場所、決められた時間に出している。	
	2 店の周りは整理整頓し、燃えやすいものを置いていない。	
	3 火気の使用中は、そばを離れない。	
	4 火気設備のまわりには、燃えやすいものを置いていない。	
	5 喫煙は灰皿のある場所で行っている。	
	6 ガス漏れ警報機を取り付けている。	
	7 最近よくブレーカーが落ちるなどの異常はない。	
	8 タコ足配線はしない、プラグにほこりをためていない。	
	9 アースを取る必要のある器具は、必ずアースを取っている。	
	10 消火器を設置している。使い方を知っている。	
終 業 時	1 火の元の点検をしている。	
	2 ガスや燃料の元栓の点検をしている。	
	3 電気の点検をしている。	
	4 戸締りの点検をしている。	